

【A】水戸市

国内流通0.1%の希少な国産胡麻



豊かな風味と鮮やかな色調

国内で流通している胡麻は、99%が輸入品であり、水戸市の内原地区で生産している「水戸胡麻」は、非常に希少価値が高いものとなっています。

胡麻の主な品種は、白胡麻「まるひめ1」です。「まるひめ1」は、老化抑制や肝機能向上の効果があるセサミンやセサモリンが他の品種よりも多く含まれており、また、豊かな風味と鮮やかな色調が特長です。

生産は、「内原地区胡麻生産研究会」のメンバーによって行われており、有機物による土づくりや、化学肥料・農薬の使用量を最低限に抑えるなど、自然環境に配慮した栽培に取り組んでいます。

白胡麻のほか、同様に栽培された黒胡麻、金胡麻も揃えています。

おすすめポイント OSUSUME POINT

- 1 希少な国産胡麻
- 2 有機物による土づくりや、化学肥料・農薬の使用量を最低限に抑えるなど、自然環境に配慮した栽培
- 3 白胡麻「まるひめ1」はセサミンやセサモリンが多く含まれている

サイズ目安 50g/パック

旬の時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

問い合わせ先 【A】水戸市農産振興課 【TEL/029-259-2212】 〒319-0393 水戸市内原町1395-1 内原庁舎3階



主な生産地

【A】取手市

自前の検査機で検査や分析



科学的データを活かした栽培。

茨城県の南端に位置する取手市で、ハーブや野菜類を栽培するシモタ農芸。ヨーロッパや中東などの海外を旅し、独自に栽培方法を学び、現在では、ハーブを中心に多くの作物を栽培しています。

西洋・東洋の多種多様なハーブを毎日20種以上出荷。敷地内に育つハーブは、130種にものぼるそうです。

シモタ農芸では、敷地内に自前の検査機材を設置し、日々、ハーブや土壌の栄養成分を調べただけでなく、第三者機関によるデータ分析も同時に行っています。そのデータを積み重ねていくことで、科学的にも立証された確かな栽培方法を実践しています。

また、自然のサイクルに逆らわず、人間と環境に優しく真に安全なハーブづくりを推進することを目標にしています。そのため、「無農薬」や「自家製完熟堆肥」にこだわり、土壌微生物の多様性に着目することで、健康な土づくりを目指しています。そうすることによって、えぐみの原因となる硝酸塩濃度を極力減らす取り組みを行い、作物の機能性（抗酸化力）に着目した栄養素の多いハーブを栽培しています。

サイズ目安 10g~30g/パック

旬の時期 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

問い合わせ先 【A】(株)シモタ農芸 【TEL/0297-78-8239】 〒302-0036 取手市員塚192



主な生産地

おすすめポイント OSUSUME POINT

- 1 年間130種ものハーブを栽培
- 2 日々の検査や分析に基づいた科学的データを活かした栽培
- 3 無農薬や完熟堆肥にこだわり、ハーブの機能性や栄養素を高める